

すぎのこだより

第90号

作:すぎのこ





◆ CONTENTS ◆

- 『理事長コラム・インスタベスト3』……………②
- 『辞令交付式・表彰感謝状贈呈式』……………③
- 『各事業所の令和6年度の抱負』……………④～⑥
- 『第49回栃木市岩舟駅伝競走大会
職員リレー・子ども食堂フェスタ』……………⑦
- 『守る会・寄付・ボランティア・なんでも掲示板
みんなの部屋』……………⑧



『人間の尊厳』



《理事長 岩崎 好宏》

3月28日に理事会を開催し、令和6年度の事業計画・予算をはじめ、佐藤和孝をみずほの家所長とする人事案件等のご承認をいただき、新年度がスタートしました。

昨年度の後半は、全国身体障害者施設協議会（身障協）の制度・予算対策委員を仰せついている関係で、障害報酬改定に伴う何十回もの意見交換・陳情・セミナー等の対応に忙殺されました。ここ数年の物価高騰・賃金上昇を考慮すると、+1.12%の改定率は不十分ですが、経営実態調査結果（収支差率）や持続可能な制度とする観点から一定の評価をしているところです。支え手が減少する中で処遇改善を行いながら人材確保に努め、利用者の皆さんが地域の中で必要なサービスを受けられるよう、施設・事業所の活動・役割を国民の皆さんに理解していただくことは重要な課題となっています。今年度も地域の皆さん、様々な団体と共生・共助しながら、地域福祉の向上と地域の活性化に取り組み、地域になくてはならない法人を目指してまいります。

さて、身障協の初代会長でもある徳川輝尚顧問の書籍「流れの小石」が2月に出版されました。身障協の3つの理念の一つである「最も援助を必要とする最後の一人の尊重」は、福祉に身を置く私たちにとって大切な考えです。著書の中で、地域共生社会を創るために最も大事なことは「人間の尊厳を認め、これを守ること」であると述べています。①自由と平等の尊重、②可能性の尊重、③目的のある生活、④必要な存在と認めること等を意識しながら、障害者や高齢者の尊厳あるケア（支援・介護）をどう実現していくか、学びの多い書籍となっています。みんなが共に幸せに生きる安らかで豊かな地域社会の実現に向けて、自己反省、自己研鑽そして自己改革を続けながら、同じ志を持つ仲間とともに誇りをもって働いていきたいと思えます。

理事長Instagramより今号のベスト3！！



アクセス
お待ちし
ています



さのまる像
(佐野SA下り)



709



被災地への義援金



674



採用関係冊子作成の取材



592

辞令交付式



4月1日、令和6年度の辞令交付式を執り行いました。新しい職員5名を迎え新年度のスタートです。また、登用職員、昇格職員、幹部職員の辞令も理事長より交付されました。新採用職員による代表挨拶は、毎年緊張感とともに心打たれる瞬間です。利用者さん、一人ひとりに心から向き合い、一緒に過ごす時間を大切にいきましょう。例年通り、採用時研修の実施とすぎのこ会の慰霊碑にもお参りをしました。岩崎会長を含むたくさんの仲間が空から見守ってくれることに感謝したいと思います。



感謝の会



3月29日、60歳をむかえた職員さんに辞令の交付と感謝の盾が贈呈されました。まだまだ皆さんお若いです。引き続き、すぎのこ会の一員としてよろしくお願いたします。お付き合いの長い、ひのきの杜の利用者さんも、会に参加し記念撮影です。



祝 還暦



n.Simada



m.Nagata

記念に赤いちゃんちゃんこ！！
照れながらも着用して
はい、ポーズ！！
よくお似合いです。



表彰・国家試験合格者

*関東・甲信越地区身体障害者施設協議会20年表彰
青山 幸子 (はまなす)

*栃木市社会福祉協議会会長表彰
浅野 明美 (すぎのこ) 藤本 芳枝 (やまと)
加藤 英子 (やまと) 山口 裕子 (みずほの家)

◎介護福祉士合格
中田 千尋 (みすぎの郷) 東谷 寛人 (みすぎの郷)
吉川 美佳 (みすぎの郷) 近藤 智子 (やまと)
鈴木 未歩 (ひのきの杜)
星見 真衣子 (ひのきの杜共生)
富田 優美 (ひのきの杜共生)

◎精神保健福祉士合格
瀬下 祐生 (はまなす)



各事業所～令和6年度の抱負～

～ひのきの杜～

今年の目標は『凡事徹底』です。当たり前のことを十分に実践できる集団を目指します。現代社会において、「当たり前」は個人によって違うように思います。ひのきの杜にとっての当たり前を見直し、支援の質を向上させ、利用者さんの支援に反映することで生活の質の向上につなげられるよう一丸となって努力します。

課長：秋澤 慎也



～もくせい（入所）～

心地よい春風とともに、大平山は新緑が眩しくなる季節となりました。4月から新年度がスタートし、もくせいの里の入所にも新しい職員が1名加わり、毎日賑やかに過ごしています。今年度も利用者の皆様が楽しく、安心して暮らせるもくせいの里、笑顔が絶えないもくせいの里を目指し、一日一日を大切に過ごしてまいりたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

総括主任：田村 茜



～もくせい（通所）～

爽やかな5月晴れに夏の気配を感じるころになりました。新体制の令和6年度、放課後デイでは新しい制服の中等部生も、新たな気持ちで先輩になった高等部生も元気に過ごしています。

生活介護も2名の新メンバーが新しい風を吹き入れ笑顔で通っていただいています。今年度もみんなでもくせいの里を盛り上げていきます。よろしくお願いいたします！

支援課・療育課課長：梅澤 要一



～包括すぎのこ（相談センター）～

変わらぬメンバーで迎えた6年目。チームワークや連携力を活かしながら皆様のさまざまなゴールまでの道のりを伴走させていただきま

す。 支援主任：村川 綾香



～みすぎの郷～

みすぎの郷は、今年で開設から9年目を迎えます。ここ数年は、新型コロナウイルスの影響もあり入居者様や利用者様のご満足いただけるような企画や外出が制限されてきました。今年度は、利用されている皆様一人ひとりがその人らしい生活を継続していけることや多くの笑顔を引き出せるような機会を持てるよう支援に努めていきたいと思

います。また、地域の方にも「おのでらカフェ」やイベントなどで気軽にみすぎの郷へ足を運んでいただける機会を作っていきます。今年度は特に見守りカメラ、入浴リフター等介護機器の整備を図り、皆さまの安心・安全の確保をしていく所存です。

総括主任：宮田 誉之



～あすなろ～

新年度が始まり利用者様、職員が新たにあすなろFamilyとなりました。たくさんの時間をあすなろで「友」と過ごし、多くの事にチャレンジし職員も「共」に成長させていただければと思います。

個々で違う幸せを最大限に大きくできるよう、個々に合った療育・支援を目指し、あすなろに関わる全ての皆さんが「幸せ」と思える事業所作りを目指していきたいと思

います。 課長：宮城 公一

